

「東京ビエンナーレ2025」テーマおよび総合ディレクター決定！ プレアクション開催のお知らせ

この度、一般社団法人東京ビエンナーレは、2年に一度の国際芸術祭、東京ビエンナーレ2025のテーマと総合ディレクターを発表します。また、2025年の本開催に向けてのプレイベントの開催もあわせてお知らせします。

東京ビエンナーレは、東京を舞台に、現代社会における「私たち」の在り方を探求する国際芸術祭です。東京という大都市で暮らす人々、働く人々、さらには世界中から観光に訪れる人々が、互いへの無関心を越えて、ゆるやかに優しくつながる方法がないだろうか。アートにはその力はないだろうか。そんな思いから、東京ビエンナーレ2025のテーマは、「いっしょに散歩しませんか？」と決めました。

このテーマを掲げ、本開催に向けてのプレイベントとなる『東京の地場に発する国際芸術祭 東京ビエンナーレ 2025 いっしょに散歩しませんか？ プレアクション』を2024年10月から11月にかけて開催いたします。アートをめぐる散歩、そして散歩自体がアートになる新しい体験が始まります。

〈プレアクション概要〉

名称	東京の地場に発する国際芸術祭 東京ビエンナーレ2025 プレアクション
テーマ	いっしょに散歩しませんか？
期間	2024年10月25日（金）～11月24日（日）※休催は会場により異なります
主催	一般社団法人東京ビエンナーレ
会場	CREATIVE HUB UENO“es”、江戸桜通り地下歩道、エトワール海渡、Slit Park YURAKUCHO、花園アレイ Room101、東叡山 寛永寺、東京ドームシティ、ほかJR上野駅周辺エリア、JR東京駅周辺エリア、日本橋周辺エリア
協賛	三菱地所株式会社、三井不動産株式会社
事業パートナー	株式会社東京ドーム
特別協力	東邦レオ株式会社、一般社団法人日本橋室町エリアマネジメント
協力	東京藝術大学、東日本旅客鉄道株式会社、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会、東叡山 寛永寺
補助事業	令和6年度日本博2.0事業（補助型）（独立行政法人日本芸術文化振興会／文化庁）

公式ウェブサイト：<https://tokyobiennale.jp/tb2025pre/>

【お問い合わせ】一般社団法人東京ビエンナーレ

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目12-5 長谷川ビル2F

TEL 03-5816-3220 FAX 03-5816-3221 Email info@tokyobiennale.jp <https://tokyobiennale.jp/>

総合ディレクター

服部浩之、西原珉、並河進



服部浩之

(はっとり・ひろゆき)
キュレーター

2006年早稲田大学大学院
修了（建築学）。

公共性・commons・横断性を
キーワードに様々な地域で活
動を展開するなかで異なる領
域の応答関係に関心を持ち、
協働を軸にしたプロジェクト
を展開する。近年の活動に、
第58回ヴェネチア・ビエンナ
ーレ国際美術展日本館展示「
Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」（
2019年）、「200年をたがや
す」（2021年、秋田市文化
創造館）。

2021年より東京藝術大学准
教授。2024年より、青森公
立大学 国際芸術センター青
森 [ACAC]館長。

西原珉

(にしはら・みん)
キュレーター・
心理療法士

1990年代の現代美術シー
ンで活動後、渡米。

ロサンゼルスでソーシャルワ
ーカー兼臨床心理療法士とし
て働く。

心理療法を行うほか、シニア
施設、DVシェルターなどで
アートプロジェクトを実施。

2018年帰国。

アートとレジリエンスに関わ
る活動を行う。東京ビエンナ
ーレ2023総合ディレクター
、東京藝術大学 美術学部先
端芸術表現科 准教授。

2024年より、秋田市文化創
造館館長。

並河進

(なみかわ・すすむ)
コピーライター・
詩人・プログラマー

1973年生まれ。電通エグゼ
クティブ・クリエイティブ・
ディレクター。東京藝術大学
芸術未来研究場 アート&ビ
ジネス領域 客員教授。ソー
シャルデザイナー、コピーラ
イターとしての仕事の傍ら、
詩とプログラミングによる作
品を発表し続ける。展覧会に
、詩展「little stones in
panic forest」（山陽堂ギャ
ラリー）、人工知能との共作
による詩展「わたしAとわた
しB」（Impact HUB Tokyo）
などがある。

『ハッピーバースデー3.11』
（飛鳥新社）他著書多数。

いっしょに散歩しませんか？

東京のまちを歩いていると、目的地に向かって足早に移動する人がとても多く感じます。互いに無関心で、困っていることや小さな苦しみにも気づかずにいる。都会のその距離感が気楽、という人もいるでしょう。人と真正面から向き合うのはエネルギーを要することでもあるから。

でも、そんな諦念をこえて、私たちがゆるやかに優しくつなぐ方法はないのでしょうか。アートに、その力はないのでしょうか。

東京ビエンナーレ2025のテーマは、「いっしょに散歩しませんか？」です。肩を並べて歩けば、たとえ無言でも、そこに、ゆるやかなつながりが生まれます。目的なくゆったり歩けば、視点が自由になり、気づかなかった景色が見えてきます。

本芸術祭においてアートとは、散歩の過程で出会い、生まれる、すべてのできごとです。

いっしょに歩く人たちの関係性を創造的に変えたり、知らなかったこと・知っていたことに気づいたり、何が心と身体の妨げになっているかを知ったり、精神的に寄り添うことができたり、ひとりであってもひとりではないと感じたり。誰でも。何度でも。心と身体でいっしょに散歩する新しいかたちのビエンナーレ、はじまります。

■東京ビエンナーレ2025 プレアクション ビジュアル

【クリエイティブディレクション】
L PACK.

小田桐奨と中嶋哲矢によるユニット。共に1984年生まれ、静岡文化芸術大学空間造形学科卒。アート、デザイン、建築、民藝などの思考や技術を横断しながら、最小限の道具と現地の素材を臨機応変に組み合わせた「コーヒーのある風景」をきっかけに、まちの要素の一部となることを目指す。東京都大田区で、コーヒーの焙煎や日用品の販売などを行うお店 DAILY SUPPLY SSSを営む。



SANPO

東京ビエンナーレ2025 プレアクション

001：朝食からはじまる

たとえば、いつもより早く起きてモーニングを食べてみるとする。Vol. 36

002：お供といっしょに

旅のお供

003：歩いて癒される

歩いて心を軽くするセラピューティックツアー 寛永寺での座禅付き

(英語・中国語通訳つき)

004：ロボットを見上げて

ロボット演劇「博士のためのアンセム」

005：つながりをたどる

散歩大学特別フィールドワーク「日本橋エリアを巡る」

006：タイムトラベルのように

散歩大学特別フィールドワーク「東京を裏返す方法を学ぶ」

007：アートをめぐる

①大丸有アートツアー

②写真でつながる街と街～大手町・神田

③東京ドームシティ アートプロジェクト「Re-sortir / リ・ソルティール」

008：街のあれこれを拾い集めながら

じゃあこう歩こう、かくかくしかじか。

009：鳥の目と虫の目で

都市と芸術祭のこれから：トランスローカルと自律性

010：街と自分の感情を見つめながら

もし都市が1人の人間だとしたら 展示編／ツアー編

011：ユーラシアをめぐる

上野御徒町界隈で探るユーラシアの魅力、装身具を源泉に。

001：朝食からはじまる

ちょっと早く起きてまちを歩き、アーティストが生み出した特別な空間で、この日のために作られた新聞「LAND PARK TIMES」を読みながら、ゆっくり朝食を食べる。ふだんは忙しい朝の時間をゆたかに過ごし、1日のよいスタートをきってもらえたらと思います。

【タイトル】 たとえば、いつもより早く起きてモーニングを食べてみるとする。Vol.36

【形式】 ツアー

【アーティスト】 L PACK. ゲスト：Aokid

【会場】 花園アレイ | Room101
(東京都台東区池之端3丁目3-9)

【開催期間】 2024年11月16日(土) 7:00~10:00

【料金】 1,000円
(モーニング代、L PACK.作成の新聞つき)

【企画協力】 東京藝術大学 芸術未来研究場 アート×ビジネス領域



上、下：たとえば、いつもより早く起きて港街でモーニングを食べてみるとする。Vol.20 (狩野哲郎)

002：お供といっしょに

東京藝術大学学生・卒業生が制作した数々のパペットやぬいぐるみを東京を旅する「お供」として貸し出します。個性豊かなお供たちと東京を一緒に歩くことで、作品を直接体験できるアートプロジェクトです。

【タイトル】 旅のお供

【形式】 展示

【アーティスト】 アモン・ド・ナッツ、荒川真穂、石本唄、一周回ってつらい
奥野智萌、ちえんしげ、中村耕士、野村穂貴、藤田梨花、
堀田紗来、松下七菜、元岡奈央、和氣光凜
(キュレーション：西原珉)

【企画協力】 東京藝術大学 芸術未来研究場 アート×ビジネス領域

【会場1】 CREATIVE HUB UENO “es” (東京都台東区上野7丁目1番1)

【開催期間】 10月25日(金)~11月24日(日)

【休廊日】 10月28日(月)、11月5日(火)、11日(月)、18日(月)

【時間】 11:00~19:00

【料金】 無料

【会場2】 Slit Park YURAKUCHO (東京都千代田区丸の内3丁目4-1)

【開催期間】 10月29日(火)~11月24日(日)

【休廊日】 日・月

【時間】 11:00~19:00

【料金】 無料



上：上野駅浅草口にある
CREATIVE HUB UENO “es”
下：Slit Park YURAKUCHO



野村穂貴の参考作品



中村耕士の参考作品

003：歩いて癒される

総合ディレクターでもあるキュレーター、心理療法士の西原珉が、歩きながらの人生相談などを実施します。普段は非公開の東叡山 寛永寺 渋沢家霊堂で坐禅を体験。

- 【タイトル】 歩いて心を軽くする セラピューティックツアー 寛永寺での座禅付き
- 【形式】 ツアー（英語・中国語通訳つき）
- 【案内人】 西原珉（東京ビエンナーレ2025総合ディレクター）
- 【座禅指導】 杉谷義恭（東叡山 寛永寺 執事）
- 【会場】 上野周辺エリア、東叡山 寛永寺（東京都台東区上野桜木1-14-11）
- 【開催期間】 11月16日（土）
- 【時間】 13:30-15:30
- 【料金】 3,000円



参考：東叡山 寛永寺

004：ロボットを見上げて

B-fax は三浦星イレナ(東京藝術大学)を中心に、多摩美術大学、早稲田大学、千葉大学、日本大学の学生による協働グループによるチーム。人間が登場しない、ロボットのみによる短編演劇を上演し、「人間性」についてストレートに問いかけます。

- 【タイトル】 ロボット演劇「博士のためのアンセム」
- 【形式】 パフォーマンス
- 【アーティスト】 B-fax
- 【会場】 近日発表
- 【日時】 11月初旬
- 【料金】 未定
- 【企画協力】 東京藝術大学 芸術未来研究場
アート×ビジネス領域



イメージ：三浦星イレナ
ロボット演劇 すべてFAXの手紙 2023

005：つながりをたどる

東京ビエンナーレ2025のプレアクションとして、散歩大学副学長の陣内秀信が案内する日本橋エリアのツアーを実施いたします。水と深く結びついた東京の都市を、迷宮のように歩きながら、時間と空間を自由に編集する感覚を体験し、身体で感じるツアーです。

【タイトル】 散歩大学特別フィールドワーク「日本橋エリアを巡る」

【形式】 ツアー（多言語対応あり）

【案内人】 陣内秀信（法政大学 名誉教授）

【エリア】 日本橋周辺エリア

【日時】 10月29日（火）13:30-16:30

【料金】 3,000円



東京ビエンナーレ2023のツアーの様子
撮影：池ノ谷侑花（ゆかい）

006：タイムトラベルのように

「散歩大学」学長 吉見俊哉の案内のもと、上野や谷中エリアを巡り、過去と現在が共存する景観を目にしなが、東京という都市が持つ多層的な時間の流れを感じる散歩体験をお楽しみいただけます。

【タイトル】 散歩大学特別フィールドワーク「東京を裏返す方法を学ぶ」

【形式】 ツアー（多言語対応あり）

【案内人】 吉見俊哉（國學院大学 観光まちづくり学部 教授）

【エリア】 谷中、上野周辺エリア

【日時】 11月9日（土）

【料金】 3,000円



東京ビエンナーレ2023のツアーの様子

007：アートをめぐる

大手町・丸の内・有楽町地区にビル再開発とともに設置された数々のアートスポットを、「大丸有アートマップ」を片手に巡ります。参加者のクリエイティブな思考を促すツアーを多言語で開催。案内人・中村氏の豊富な知見とアーティストならではの自由な視点で街の中に点在するアートを解説します。

【タイトル】 中村政人と巡る「大丸有アートツアー」

【形式】 ツアー（多言語対応あり）

【案内人】 中村政人（アーティスト、東京藝術大学副学長）

【実施期間】 11月13日（水）17:30～19:00

11月23日（土）12:30～14:00

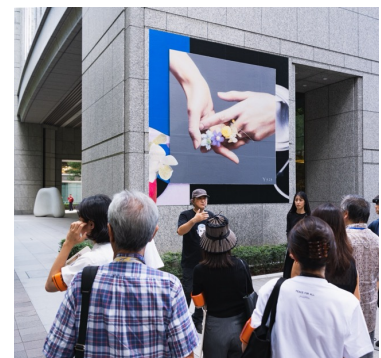
【エリア】 大丸有周辺エリア

【料金】 一般／1,500円 学生／500円

※エリア内のアートスポットをまとめ、
作品解説付のアートマップを作成し無料配布します。

【協賛】 三菱地所株式会社

【協力】 一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、
特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会



東京ビエンナーレ2023のツアーの様子
撮影：飯塚麻美

007：アートをめぐる

大手町川端緑道に設置中の仮囲い壁面を活かした、写真家の池田晶紀の作品で大手町と神田をつなぐアートプロジェクト。2024年6月より新作の13作品を追加で展示しています。

- 【タイトル】 写真でつながる街と街～大手町・神田
- 【形式】 展示
- 【アーティスト】 池田晶紀（写真家）
- 【開催期間】 展示中～2025年7月31日（木）※終了日は予定 終日公開
- 【会場】 大手町仲通り～川端緑道仮囲い（東京都千代田区大手町 1-9）
- 【料金】 無料
- 【協賛】 三菱地所株式会社

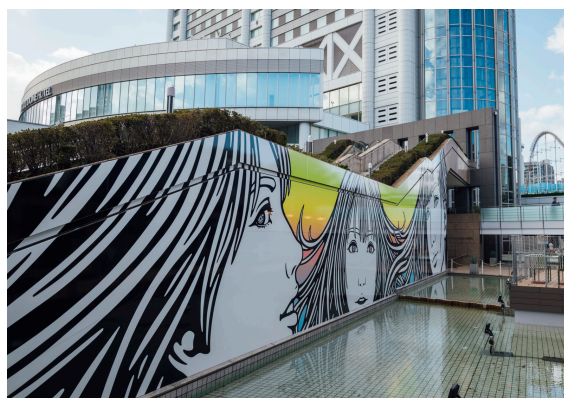


撮影：池ノ谷侑花（ゆかい）

記念撮影の瞬間のような夕日や南国を想起させるウォールアート。

巨大な3人の女性が水辺の壁面に現れる。タイトルの「リ・ソルティール」は、「リ：再び」とフランス語の「ソルティール：出かける」から「何度も通う場所」の意味。「リゾート」の語源。

- 【タイトル】 東京ドームシティ アートプロジェクト「Re-sortir / リ・ソルティール」
- 【形式】 展示
- 【アーティスト】 Hogalee
- 【会期】 展示中 会期中無休・終日公開（午前1:30～4:30除く）
- 【会場】 東京ドームシティ
ミーツポートと東京ドームホテルの間の水景エリア（東京都文京区後楽1-3-61）
- 【料金】 無料
- 【主催】 株式会社東京ドーム、東京藝術大学、一般社団法人東京藝術大学芸術創造機構



撮影：池ノ谷侑花（ゆかい）

008：街のあれこれを拾い集めながら

ダンサー／アーティストのAokidと東京を歩き回って、街と自分を発見するツアー。

「東京という日本の首都は大きな開発ばかりで、僕やあなたが間に入って何か作り込む余地なんてないだろうか？そんなことはない。……ペンやカメラ、楽器やスニーカー、裸足、ダンス、音や車、脚本や詩、飲み物や会話、眼差しと共に歩く、そして何かを作る、応える。その手始めに、足始めよー！」（Aokid）

【タイトル】 じゃあこう歩こう、かくかくしかじか。

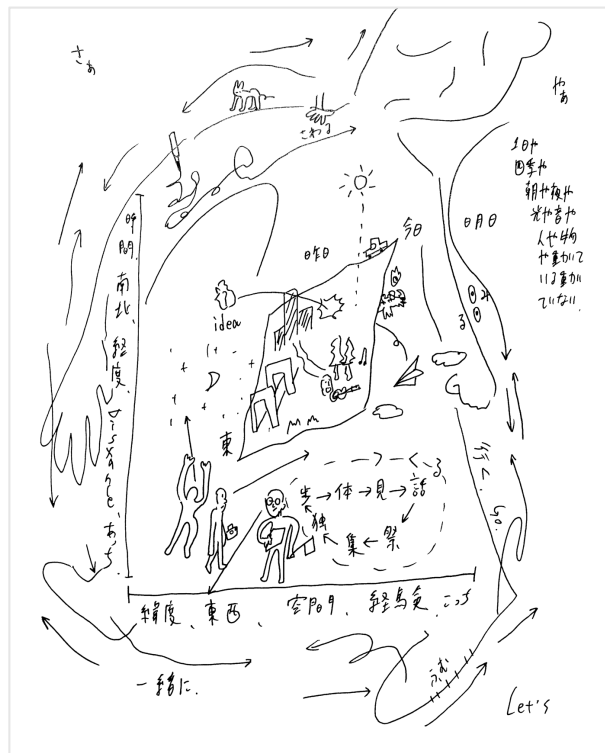
【形式】 パフォーマンスツアー

【案内人】 Aokid（アーティスト）

【日時】 11月5日（火）、11月12日（火）、
11月19日（火） 各日13:00-19:00

【エリア】 大丸有周辺エリア

【参加費】 未定



ドローイング：Aokid, 2024

009：鳥の目と虫の目で

人と人、人と地域、地域と地域のネットワークは芸術祭の基盤となり、自律性を保つことで自由で新しい表現が生まれ、広がっていきます。本シンポジウムでは、様々な地域でトランスローカルな芸術祭やアートプロジェクトを実践してきたアーティストやキュレーターを招き、都市と芸術祭のこれからについて議論します。

【タイトル】 都市と芸術祭のこれから：トランスローカルと自律性

【形式】 シンポジウム

【登壇者】 パネリスト：Mechu Rapelra (Tenthaus collective), Shahrzad Malekian (Tenthaus collective), Ida Uvaas (Tenthaus collective), Ayos Purwoaji, Bintang Putra, Jongeun Lim
コメンテーター：毛利嘉孝、西原珉
モデレーター：服部浩之

【実施期間】 11月17日（日）17:00-19:00

【実施場所】 エトワール海渡 商品部ビル5階

【参加費】 500円

【企画協力】 東京藝術大学 芸術未来研究場 アート×ビジネス領域



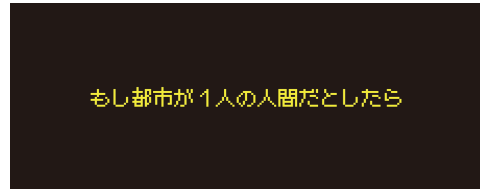
参考：東京ビエンナーレ2023シンポジウムの様子

010：街と自分の感情を見つめながら

普通1人のものである健康を合計していくことで、都市全体の健康状態を可視化するプロジェクト。展示編では、脳波をもとにした日本橋の街の感情を予報する、アート作品を展示します。

ツアー編では、そのアート作品の元データとなる脳波を測定する散歩を行います。参加者一人一人が、脳波を測定する器具を装着し、自分の感情を集める不思議な散歩。参加者は、ツアーの最後に自分の脳波をもとに作られるアート作品がもらえます。

- 【タイトル】 「もし都市が1人の人間だとしたら：展示編」
- 【形式】 展示
- 【アーティスト】 並河進、ほか
- 【会場】 江戸桜通り地下歩道
- 【開催期間】 11月4日（月・祝）～11月9日（土）11:00-19:00 無休
- 【料金】 無料



- 【タイトル】 「もし都市が1人の人間だとしたら：ツアー編」
- 【形式】 ツアー
- 【案内人】 並河進、ほか
- 【日時】 10月26日（土）、10月27日（日）各日15:00-16:00（各回10名募集）
- 【料金】 無料
- 【協賛】 三井不動産株式会社
- 【特別協力】 一般社団法人日本橋室町エリアマネジメント
- 【協力】 電通サイエンスジャム
- 【企画協力】 東京藝術大学 芸術未来研究場 アート×ビジネス領域

011：ユーラシアをめぐる

御徒町は、ユーラシア大陸へとつながる交差点ともいえる場所です。アフガニスタンやインドからは貴石や宝石が集まり、ハラルの商店やレストランが並びます。また、中国や韓国をはじめ、アジア各国からの商店や飲食店も数多く存在し、国際色豊かな文化が広がっています。ツアーでは、アジアの文化が集積する上野御徒町エリアを巡り、東京のグローバルな一面を再発見します。

- 【タイトル】 上野御徒町界隈で探るユーラシアの魅力、装身具を源泉に。
- 【形式】 ツアー（多言語対応あり）
- 【アーティスト】 小池一子（クリエイティブディレクター）
- 【エリア】 上野御徒町周辺エリア
- 【日時】 11月20日（水）12:00-13:00（昼食）、13:00-14:30（散歩）
- 【料金】 3,000円（+昼食代/任意参加）



* 写真時はイメージです

撮影：飯塚麻美

■東京ビエンナーレ2025プレアクションのプログラム一覧

形式	名称	アーティスト/案内人/登壇者	実施日程	会場/エリア	料金
展示	旅のお供	アモン・ド・ナッツ、荒川真穂、石本唄、一周回ってつらい、奥野智萌、ちえんしげ、中村耕士、野村穂貴、藤田梨花、堀田紗来、松下七菜、元岡奈央、和氣光凜 (キュレーション：西原珉)	10/25(金)～ 11/24(日)	CREATIVE HUB UENO “es”	無料
展示			10/29(火)～ 11/24(日)	Slit Park YURAKUCHO	無料
展示	写真でつながる街と街～大手町・神田	池田晶紀	展示中 ～2025/7/31 (木)	大手町川端緑道、大手町仲通り仮囲い	無料
展示	もし都市が1人の人間だとしたら 展示編	並河進、鈴木 真一朗 (協力：電通サイエンスジャム)	11/4(月・祝)～ 11/9(土)	江戸桜通り地下歩道	無料
展示	東京ドームシティアートプロジェクト「Re-sortir / リ・ソルティール」	Hogalee	展示中	東京ドームシティ ミーツポートと東京ドームホテルの間の水景エリア	無料
ツアー ※	歩いて心を軽くするセラピューティックツアー 寛永寺での座禅付き	西原珉 座禅指導：杉谷義恭 (東叡山 寛永寺 執事)	11/16(土)	上野周辺エリア	有料
ツアー	たとえば、いつもより早く起きてモーニングを食べてみるとする。 vol. 36	L PACK.	11/16(土)	花園アレイ Room101	有料
ツアー ※	散歩大学特別フィールドワーク「東京を裏返す方法を学ぶ」	吉見俊哉	11/9(土)	上野、谷中周辺エリア	有料
ツアー ※	上野御徒町界隈で探るユーラシアの魅力、装身具を源泉に。	小池一子	11/20(水)	上野御徒町周辺エリア	有料
ツアー ※	中村政人と巡る「大丸有アートツアー」	中村政人	11/13(水)、 11/23(土)	大丸有周辺エリア	有料
ツアー	もし都市が1人の人間だとしたら ツアー編	並河進、鈴木 真一朗	10/26(土)、 10/27(日)	+ NARU NIHONBASHI	無料
ツアー ※	散歩大学特別フィールドワーク「日本橋エリアを巡る」	陣内秀信	10/29(火)	日本橋周辺エリア	有料
パフォーマンス	ロボット演劇「博士のためのアンセム」	B-fax (代表：三浦星イレナ)	11月初旬	近日発表	未定
パフォーマンス ツアー	じゃあこう歩こう、かくかくしかじか。	Aokid	11月5日 (火)、 11月12日 (火)、 11月19日 (火)	大丸有周辺エリア	未定
シンポジウム ※	都市と芸術祭のこれから：トランスローカルと自律性	パネリスト：Mechu Rapelra, Shahrzad Malekian, Ida Uvaas (tenthaus collective)、Ayo Purwoaji, Bintang Putra, Jongeun Lim コメンテーター：毛利嘉孝、西原珉 モデレーター：服部浩之	11/17(日)	エトワール海渡 商品部ビル5階	有料

※・・・多言語対応のあるプログラム

【お問い合わせ】一般社団法人東京ビエンナーレ

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目12-5 長谷川ビル2F

TEL 03-5816-3220 FAX 03-5816-3221 Email info@tokyobiennale.jp <https://tokyobiennale.jp/>